



第1号

令和7年4月28日発行

鹿児島大学教育学部附属小学校



いろいろな本と出合える1年に

2～5年生の図書室利用のオリエンテーションが終了し、今年度も本の通常貸出がスタートしました。図書室は、月曜日から金曜日まで、毎日利用できます。読書の係の先生や学校図書サービス委員会の子どもたちが、図書室が楽しい場所になるように準備をして待っています。本を読んだり借りたりすることを通して、今年度も図書室のいろいろな本と出会い、本と友達になれるといいですね。1年生のオリエンテーションと貸出は5月から行います。楽しみにしておいてくださいね。



読書のあしあとを記録しましょう



<個人カードについて>

今年度も「たくさん読書」「いろいろ読書」に取り組みます。昨年度の自分の貸出冊数を基に今年度も目標冊数を決め、「個人カード」に記入します。「個人カード」には、「たくさん読書」の目標冊数の他に、「いろいろ読書」の目標を決めました。「日本の音話をたくさん読みたい。」「自然についての本を読んで、理科の学習に生かしたい。』など、今まで読んでいた本の種類を振り返りながら、目標を決めます。学期の終わりには、このカードを用いて自分の読書を振り返り、その後の読書に生かしましょう。

読書ふりかえりカード (平成27年度)

冊数	本の題名	貸出日	返却日
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			

例: 2枚きつ読み終わると、このカードは、もう一冊貸出券として使うことができます。

読書ふりかえりカード (平成27年度)

「たくさん」読書をしましょう！
※ 個人の貸出冊数を基に、目標を決めます。

「いろいろ」読書をしましょう！
※ 個人の読書の種類を基に、目標を決めます。

おもと表

冊数	本の題名	貸出日	返却日
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			

の種類の番号は図書室にも書いてあるよ。

① 児童 (児童 児童 児童)
② 児童 (児童 児童 児童)
③ 児童 (児童 児童 児童)
④ 児童 (児童 児童 児童)
⑤ 児童 (児童 児童 児童)
⑥ 児童 (児童 児童 児童)
⑦ 児童 (児童 児童 児童)
⑧ 児童 (児童 児童 児童)
⑨ 児童 (児童 児童 児童)
⑩ 児童 (児童 児童 児童)

※ 100冊以上読んでください。



おもと裏

1年間の「いろいろ読書」の目標

読書のふりかえり

冊数	前期	後期	合計
たくさん読書	記録	記録	記録
いろいろ読書	記録	記録	記録

◎よく読めた ○読めた △もう少し

<読書ふりかえりカードについて>・・・2年生以上

「読書ふりかえりカード」は、学校の図書室や市立図書館、県立図書館などから借りた本を、記録していくカードです。読書ふりかえりカードには、借りて読んだ本の名前を書いたり、本の種類ごとに番号を書いたりするようになっています。この読書ふりかえりカードを基に読書冊数を増やしたり、いろいろな種類の本を読んだりできるように活用していきましょう。また、読書ふりかえりカードを使って、心に残った本を友達と紹介しましょう。1枚書き終えたカードは、もう一冊貸出券として利用できます。

※ 読書ふりかえりカードを書き終わったら、図書室に新しいカードをもらいにいきましょう。

学校図書サービス委員会です！

みなさんの本の貸出や図書室の整理などをしてけているのが、学校図書サービス委員会の子どもたちです。今年度の委員長さんから、みなさんへメッセージをお伝えします。

6年ろ組 八谷 維士さん（はちや いおさん）

私たち図書サービス委員会は、みなさんが本にもっと興味をもつことができるように、気軽に利用しやすい図書室にします。
仕事内容は、本の貸出や返却の受付、本棚の整理、本の修理などを行っています。また、イベントや読書週間などをとおして、みなさんが自分だけのお気に入りの本に出合うことができるように、図書サービス委員会一同がんばります。

～図書室のきまりを守ろう～

■ 貸出・返却時間

- ・ 朝の時間（7:45～8:00）・・・返却のみ
- ・ 2時間目の休み時間・・・返却か貸出のどちらか1つ
- ・ 昼休み・・・返却か貸出どちらも可能

※昼休みに本を借りたい人は、朝か2時間目休みに返却を済ませておきましょう。

■ 貸出期間：7日間

■ 貸出冊数：1日1冊（金曜日、学級の図書室利用の時間、毎月23日、読書週間中は2冊）

※ 自分で借りた本をそのまま友達に貸しません。

どうして図書バッグに本を入れるのかな。

本は、長く利用すれば、古くはなります。しかし、みなさんの心がけ一つで、もっと本を長く利用することもできるのです。返却・貸出の際はもちろん、図書バッグに入れて図書室へ行きましょう。借りた本を家に持ち帰るときも、図書バッグに入れて持ち運びましょう。大切に本を包むことで、本は、長持ちします。

【図書室利用のはじめの一歩】

- ★ 手洗いをして入室します。
- ★ 上履きは、靴箱に入れます。
- ★ 図書室では静かにします。
- ★ 本はていねいにあつかいます。
- ★ 本は図書バッグに入れて持ち運びます。

